



ヌメリスギタケモドキ

科名／モエギタケ科

学名／*Pholiota aurivella*

和名／ヌメリスギタケモドキ（俗称ヤナギタケ）

月形町の中小屋に柳の大木があり、その幹に大きなキノコがついていた。保健所に問い合わせたところ、食用キノコとわかる。表面はゼラチン質で、三角形の鱗片は雨にぬれると脱落する。ぬめりが著しく、日本産はヨーロッパ産のものより小さい。

分 布：日本、中国、ヨーロッパ、北米、モロッコ

画：船迫 吉江（さっぽろ植物画同好会）